

# 第45号

令和3年(2021年) 3月発行

兵庫教育大学大学院  
同窓会 広報部



## 兵庫教育大学 大学院同窓会

# 会報

### コロナ禍に想う

同窓会長

新 居 寛

同窓会員の皆様には、恙なくお過ごしでしょうか。同窓会活動は活発に行えない現下の状況ですが、今はポストコロナに向けて雌伏の時と考えたいものです。

さて、令和二年度の札幌での全国大会が一年延期になりましたが、この間、水野氏のリーダーシップのもと令和三年度の大会が開催されますことを心より喜び、大会準備に関わっておられる皆様に感謝申し上げます。



兵教大で学ぶ機会を得た皆様には、よき思い出が数多くあったことでしょう。小生は、二期生で先輩も少ない時にキャンパスライフを送りました。今の時期、このような言い方は不謹慎かもしれませんが、自分自身の学びを深める絶好の機会ととらえ、前向きに過ごしたいものです。

百年前の全世界に猛威をふるったスペイン風邪に、今日ほどの知見もなくどうやって人類は生き延びたのでしょうか。中世ヨーロッパで発生したペストにどのように立ち向かったのでしょうか。コロナ対策として、うがい・手洗い・三密回避は有効ですが、大昔からの人類の叡智のように感じられます。ワクチン開発中の世界中の医療関係者と科学者に深甚の敬意を表しますと共に、この会報がお手元に届く頃には、明るい希望の光が見えていくことを願ってやみません。

「迎え三送り七」と申します。コロナを早く機嫌よく送り出したいものです。

### 実現したい価値を 通じたつながり

理事・副会長

吉水裕也

大学院同窓会の皆様には、平素より大学の運営および教育研究活動に多大なご支援をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症パンデミックで、これまでのノーマルがそうでなくなりました。社会全体がその傾向ですが、この状況下で大学に一層求められているのはDX(デジタル・トランスフォーメーション)推進です。大学でも多くのことがオンラインでできるようになり、従前に比べて便利になったことが沢山あります。国際学会での講演もオンラインで十分可能だとわかりました。私自身も遠く離れた修了生の方と、オンラインで顔を見ながら話すことができています。

一方、DXが推進されても、教育の根幹は簡単には変化しないと思っています。大切な部分はそう簡単には変わり



## 夢をつなぐ

### 緊急募金のお願い

#### 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済的困窮学生支援プロジェクト

兵庫教育大学では、修学支援事業の一環として、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い経済的被害・損失を被った学生を対象に学費の免除等の緊急支援を実施しています。一人でも多くの同窓生のみなさんのご支援をお願いいたします。

詳細は、ホームページをご覧ください。

[https://www.hyogo-u.ac.jp/covid19\\_kikin\\_project.php](https://www.hyogo-u.ac.jp/covid19_kikin_project.php)

ません。空間の制約を取り払って、様々なことが伝えられるようになると、一層大切になるのは「何を伝えるのか」という内容の問題になるからです。高等教育機関としての大学は、教職員と学生が協働して新たな価値を生み出してこそ存在意義があるのです。

大学院同窓会の皆様には、これまでに培ってこられた豊富な知識と、数々の困難を乗り越えてきた経験に裏打ちされた意志を、是非本学のためにお使いいただきたく存じます。実現したい価値を通じたつながり、今後とも一層強めていただければ幸いです。



## 令和2年度 教育実践研究活動等に係る受賞者

### 推薦

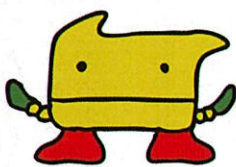
賞	氏名	教育実践研究活動	専攻・コース・期
嬉野賞	山谷 敬三郎	学校法人北翔大学理事 学長 北海道教育委員会教育相談スーパーバイザー、日本学校心理士会会長を歴任し、社会貢献活動も積極的されています。「教授・学習過程における教育方法・技術とコーチングモデルの統合に関する研究」で博士号を取得するとともに、その普及と実践に尽力されました。	学校教育専攻 教育基礎コース 3期
奨励賞	橋本 美彦	中部大学現代教育学部現代教育学科准教授 中部教育実践研究会を主宰理科授業について多数の論文を発表。教職教養に関する著書も多数執筆されています。	学校教育専攻 教育経営コース 7期

### 論文 (自己推薦)

賞	氏名	論文のテーマ	専攻・コース・期
奨励賞	大島 浩	1. 生徒実験としてのアボガドロ数算出の評価 2. 寺田物理学の位相	教科領域教育専攻 自然系コース (理科) 3期
奨励賞	井上 万紀	特別支援教育におけるわかってできる音楽の授業	教育実践高度化専攻 生徒指導実践開発コース 33期

表彰式は、例年全国研究大会の会場で行っておりましたが、令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大のため、大会を開催できませんでした。そのため、表彰状と記念品を送付させていただき、令和3年度の全国研究大会で表彰させていただくという対応をご希望に応じてとらせていただきました。

お疲れ様でした!!



令和元年度をもって、次の皆さんが同窓会役員を退任されました。長い間お疲れ様でした。

- 理事・専門部長  
中尾 豊喜 (大阪) (研究部長)
- 理事・副ブロック長  
永嶋 啓一 (福島)
- 理事  
杉田 和一 (福井)
- 支部代表  
佐藤 司 (宮城)  
永嶋 啓一 (福島)  
手塚 裕 (千葉)  
森山 義人 (富山)  
杉田 和一 (福井)  
沼田 良一 (石川)  
千葉 照久 (岡山)  
曾根崎 靖 (大分)  
米村 公俊 (宮崎)  
森山 勇 (鹿児島)

### 令和元年度退任役員

### コロナ禍の兵庫教育大学

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、兵庫教育大学でも、前期の授業はすべてリモート授業となりました。大学キャンパスはひっそりと静まり返り、大学らしい活気は失われました。十月から後期授業が始まり、対面授業が再開されて、ようやくキャンパスに賑わいが戻ってきました。とはいえ、すべてが対面というわけではなく、対面とリモートのハイブリッド形式です。部活動も通常通り実施できるようになっています。幸いなことに、兵庫教育大学では、教職員、学生とも感染の報告はなく、落ち着いた状況です。

ただ、現在首都圏・関西圏を含めて多くの地域に緊急事態宣言が出され、大学の周辺地域でも感染が広がっていますので予断は許しません。新年は大学入試共通テストの会場になりました。授業は再び完全リモートになりました。一日も早くこれまでの生活に戻ることを願っています。





令和2年度 兵庫教育大学大学院同窓会役員

会 長				新居 寛 (兵庫)							
副 会 長		専門部長代表 船本秀忠 (兵庫)		ブロック長代表 渡邊哲郎 (山口)		院生協代表 (前期/後期) 筒井幸介 (兵庫) / 佐藤優衣 (長崎)		事務局長 菅野恭介 (兵庫)			
専門部長		組織部長 (中部・東海) 鈴木 隆 (岐阜)		総務部長 (近畿①) 船本秀忠 (兵庫)		研究部長 (近畿②) ( )		会計部長 (東中国・四国) 佐々木勇 (岡山)		広報部長 (西中国) 大畑和典 (広島)	
監 事		監事長 北山鎮道 (岡山)		監事 田中嘉明 (兵庫)		監事 中園大三郎 (大阪)		監事 毛利直巳 (島根)		支 部 代 表	
相 談 役		武 泰稔 (岡山) 大橋 博 (兵庫)		酒巻成欣 (大阪) 川村庸子 (岩手)		吉田 廣 (兵庫)		山下 裕 (広島)		水野 和男 (北海道) 村田 卓生 (大阪) 西澤 亨一 (青森) 井上 温子 (大阪) 山本 勉 (岩手) 和田 博之 (大阪) 瀧美 寿彦 (宮城) 山崎 誠 (奈良) 高橋 正規 (秋田) 西端 幸信 (和歌山) 本田 礼 (山形) 藤原 彰二 (鳥取) 吉田 重郎 (茨城) 小田 幸伸 (岡山) 駒田 郁夫 (栃木) 田村 明敏 (徳島) 青木 雅夫 (群馬) 野島 悟 (香川) 松尾 鉄城 (埼玉) 清田 公典 (愛媛) 野田不二夫 (東京) 野村ゆかり (高知) 児玉 祥一 (神奈川) 毛利 直巳 (島根) 碓井 欣一 (新潟) 津田 和也 (広島) 林 伸行 (石川) 石川 芳己 (山口) 下條 英子 (福井) 川尻 徳 (福岡) 梶原 正史 (山梨) 草場 聡宏 (佐賀) 猪瀬 洋一 (長野) 平戸 健吉 (長崎) 松村 敏幸 (岐阜) 八間川隆彦 (熊本) 神尾 義敬 (静岡) 西山 和幸 (大分) 鈴木 均 (愛知) 後藤世志哉 (宮崎) 大森 雅彦 (三重) 松山 武史 (鹿児島) 西谷 淳 (滋賀) 松川 隆夫 (沖縄) 大森 直也 (京都) 横内 惠 (兵庫) 船本 秀忠 (兵庫) 菅野 恭介 (兵庫)	
ブロック		ブロック長		副ブロック長		理 事					
北海道・東北		小山文明 (岩手)		水野和男 (岩手)		棚澤 実 (北海道)		千田健一 (宮城)		村石好男 (宮城)	
関東		清水政義 (東京)		松尾鉄城 (埼玉)		荒井 豊 (埼玉)		生駒義郎 (埼玉)		野田不二夫 (東京)	
中部・東海 (組織部)		幸脇直久 (岐阜)		梶原正史 (山梨)		下條英子 (福井)		森 社 (岐阜)		杉田和一 (福井)	
近畿① (総務部)		尾崎文雄 (兵庫)		横内 惠 (兵庫)		船本秀忠 (兵庫)		笠沙敏彦 (京都)		五百住満 (兵庫)	
近畿② (研究部)		雲井 稔 (大阪)		芳村美佐子 (大阪)		徳永加代 (大阪)		和田博之 (大阪)		井上温子 (大阪)	
近畿③ (研究部)		岸本秀章 (岐阜)		大前泰彦 (和歌山)		山中賢司 (奈良)		唐錦秀和 (奈良)		西端幸信 (和歌山)	
東中国・四国 (会計部)		鷺見寛幸 (鳥取)		野村ゆかり (高知)		佐々木勇 (岡山)		藤原彰二 (鳥取)		小田幸伸 (岡山)	
西中国 (広報部)		渡邊哲郎 (山口)		津田和也 (広島)		大畑和典 (広島)		藤原尚幸 (島根)		勝田 彰 (島根)	
九州・沖縄		草場聡宏 (佐賀)		川尻 徳 (福岡)		船津勇一 (大分)		松川隆夫 (沖縄)		福島, 千葉, 富山の 支部代表については, 船本 秀忠 (兵庫) 菅野 恭介 (兵庫) 現在, 各支部で人選中	

※ 青字は新任役員

兵庫教育大学大学院同窓会 第38期 会計決算報告書 自 令和元年6月1日 ~ 至 令和2年5月31日

〔収入の部〕

科目	予算額	決算額	増減	摘要
会費	3,900,000	3,704,776	-195,224	
繰越	737,450	737,450	0	
売上金	0	6,000	6,000	教職の先達10冊
雑収入	0	13	13	預金利息
合計	4,637,450	4,448,239	-189,211	

〔支出の部〕

款	項	目	予算額	決算額	増減
総務部	役員会費	渉外費	1,000,000	700,940	299,060
		需用費	5,000	436	4,564
		通信費	0	0	0
		旅 費	0	0	0
		会議費	0	0	0
会計部	事務費		20,000	2,944	17,056
		需用費	5,000	820	4,180
		通信費	13,000	1,704	11,296
		旅 費	2,000	420	1,580
		会議費	0	0	0
研究部	印刷製本費	実践研究費	45,000	18,923	26,077
		需用費	10,000	1,453	8,547
		通信費	15,000	8,560	6,440
		旅 費	15,000	8,000	7,000
		会議費	5,000	910	4,090
広報部	会報印刷費	印刷費	260,000	218,284	41,716
		需用費	500	440	60
		通信費	2,500	1,080	1,420
		旅 費	1,000	0	1,000
		会議費	1,000	0	1,000
組織部	活動推進費	ブロック会議費	200,000	36,621	163,379
		支部活動助成金	200,000	261,884	-61,884
		需用費	0	3,484	-3,484
		通信費	5,000	0	5,000
		旅 費	0	0	0
事務費	旅 費	0	0	0	
	会議費	0	0	0	

款	項	目	予算額	決算額	増減
事務局費	事務費	渉外費	10,000	0	10,000
		印刷費	100,000	88,206	11,794
		旅 費	80,000	0	80,000
		需用費	120,000	100,244	19,756
		通信費	10,000	6,331	3,669
		旅 費	0	0	0
		会議費	30,000	14,634	15,366
総会運営費		500,000	500,000	0	
院生協活動助成費		100,000	100,000	0	
寄付金(兵庫教育大学同窓会研究助成金)		1,000,000	1,000,000	0	
小計		3,690,000	3,054,451	635,549	
予備費	繰越金他		947,450	0	947,450
合計		4,637,450	3,054,451	1,582,999	

○ 収支決算合計 4,448,239円 支出決算合計 3,054,451円  
 差引残高 1,393,788円  
 差引残高は、第39期会計の収入(繰越金)に充てます。  
 ○ 兵庫教育大学同窓会積立金は次の通りです。  
 定額預金 10,190,000円(10年満期 平成29年6月5日 預入)  
 以上、報告いたします。  
 令和2年5月31日  
 兵庫教育大学大学院同窓会 会 長 新居 寛  
 同 会計部長 佐々木 勇

監 査 報 告  
 上記の第38期会計決算報告並びに運営積立金会計を  
 監査した結果、正確であることを認めます。  
 令和2年5月31日  
 兵庫教育大学大学院同窓会 監事長 北山 鎮道  
 同 監 事 田中 嘉明  
 同 監 事 中園大三郎  
 同 監 事 毛利 直巳



## 「兵庫教育大学大学院同窓会総会・全国研究大会」の歴史

兵庫教育大学大学院同窓会総会・全国研究大会は、黎明期の同窓生熱い思いを結集して、1981年度(昭和56年度)に嬉野の地で第1回が開催されました。そして、1986年度(昭和61年度)の岡山大会以降、全国各地での開催が実現し、文字通りの「全国大会」に発展しました。以来、2019年度(令和元年度)の兵庫大会まで、39回にわたって開催され、全国の同窓生の絆を深めるとともに、記念講演会や優れた教育実践発表などを通して、我が国の教育実践研究活動の充実に寄与してきました。令和2年度は新型コロナウイルスのために開催できませんでしたが、令和3年度の北海道大会より、また新たな気持ちで発展・充実をさせていきたいと思っております。北海道大会は、札幌市で令和3年7月31日(土)に開催します。詳しいご案内は6月に送らせていただくとともに、Hyokyo-netにも掲載いたします。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

回	年度	開催地	記念講演等(主に学外の方を掲載)
1	1981	大学	同窓会・院生連絡協議会／結成大会
2	1982	大学	「遙かなる兵庫教育大学」甲南女子大学長 鯉坂二夫
3	1983	大学	「現代における教育の諸問題」元文部大臣 砂田重民
4	1984	大学	「教育改革の課題－戦後教育の意味－」国立教育研究所所長 木田宏
5	1985	大学	シンポジウム「現職教育の在り方」助教授 青木薫 他
6	1986	岡山	「教育改革と兵庫教育大学」学長 谷口澄夫
7	1987	大学	「兵庫教育大学の将来の展望と現職教育」学長 上寺久雄
8	1988	大学	「教育改革と現職教育」筑波大学教授 黒羽亮一
9	1989	大阪	「大学院修了生の実情および今後への期待と展望について」副学長 佐藤修策
10	1990	大学	「大学院の現状と報告」学長 上寺久雄
11	1991	島根	「太平記と隠岐」島根女子短期大学教授 藤岡大拙
12	1992	和歌山	「人生雑感」紀三井寺 貫主 前田孝導
13	1993	福岡	「現代教育の基本問題」福岡女学院大学長 岩橋文吉
14	1994	静岡	「今川氏の中性城郭」静岡大学教授 小和田哲男 「子どものこころが見えますか？」島田こども相談室長一級カウンセラー 池谷信子
15	1995	岐阜	「アユの生態から見た人間社会」中部女子短期大学副学長 和田吉弘
16	1996	岩手	「宮沢賢治の世界」富士大学講師 吉見正信
17	1997	東京	「大転換が求められる日本の教育－発想の転換基調の創設－」川村学園女子大学副学長 奥田眞丈
18	1998	奈良	教育フォーラム「子どもの荒れに学校は何ができるか」元兵庫教育大学長 上寺久雄 他
19	1999	愛知	教育フォーラム「総合学習で子どもはどう変わる－小・中・養護の実践報告を手掛かりに－」
20	2000	兵庫	「兵庫教育大学20年の歩み」神戸女子大学教授 内藤勇次 「人と自然のコミュニケーション」財団法人夢の架け橋記念事業協会副理事長 計盛哲夫
21	2001	広島	「選手づくり・人づくり」サンフレッチェ広島 総監督 今西和男
22	2002	大阪	「21世紀型学力を育てる総合的な学習の創造」大阪教育大学助教授 田中博之
23	2003	島根	「東北アジアと古代島根」作家・島根県立大学教授 豊田有恒
24	2004	山口	「松下村塾の教育」山口県教育会 会長 河村太市
25	2005	京都	「宮沢賢治と斎藤宗次郎」国際日本文化研究センター 前所長 山折哲夫
26	2006	岩手	「啄木うた散歩」石川啄木記念館学芸員 山本玲子
27	2007	広島	「プラズマテレビにかけた夢」広島大学大学院 客員教授 篠田傳
28	2008	佐賀	「吉野ヶ里から見る邪馬台国」佐賀女子短期大学長 高島忠平(学校法人旭学園理事長)
29	2009	愛媛	「正岡子規の交友－『坂の上の雲』の人たちと－」兵庫教育大学名誉教授 長谷川孝士
30	2010	岡山	「津田永忠の新田開発の心」前就実大学長 柴田一
31	2011	岐阜	「岐阜の伝統文化 鶺鴒の魅力」宮内庁式部職 鶴匠 杉山雅彦
32	2012	兵庫	「平清盛と神戸」園田学園女子大学名誉教授 田辺真人
33	2013	九州(福岡)	「学び続ける教師像」学長 加治佐哲也
34	2014	山口	「防長教育と松下村塾」松陰神社宮司 上田俊成
35	2015	宮城	「海をうらまず～大震災を越えて～」NPO法人森は海の恋人 理事長 畠山重篤
36	2016	大阪	特別企画 上方落語「かぜうどん」落語家 桂吉弥
37	2017	関東(東京)	「道徳の『特別の教科』化と新しい教育課程が求めるもの」東京学芸大学教職大学院教授 永田繁雄
38	2018	鳥取	「小さくても勝てる」～「砂丘の国」のポジティブ戦略～ 鳥取県知事 平井伸治 「大山開山1300年祭」大山寺圓流院住職 大館宏雄
39	2019	兵庫	「歴史資料から見た姫路城～姫路城の知られざる秘密に迫る～」姫路市立城郭研究センター 工藤茂博
40	2021	北海道	「一歩手前になる勇氣～『試される大地』の挑戦」北海道文化財団理事長 磯田憲一(予定)
41	2022	愛知	(予定)